

## ☆☆☆ 朝 礼 講 話 ☆☆☆

2月15日 (月)

### 『イワシ聞き、クジラ聞き』

講話 1年担任 菅原 真希



話の聞き方には、「イワシ聞き」と「クジラ聞き」があるそうです。

どんな聞き方だと思いますか？「イワシ」は、えさを好きなどころだけちょんちょんつついて食べるイメージです。「クジラ」は、えさをまるごと食べちゃうイメージです。

話をしている途中で、「知ってる！知ってる！」「あーそれね。」と自分の話をしてしまう人。授業中、すぐ思ったことや答えを言ってしまう人。声には出さなくても話の途中で聞くのをやめてしまう人。めんどくさい、意味がわからない、どうせおもしろくない・・・とすぐに決めて耳に入っていない人。話を最後まで聞かずに、反応することなどが「いわし聞き」です。

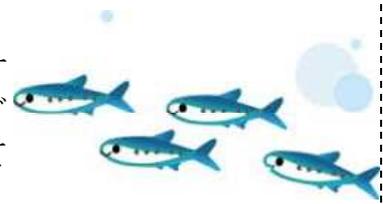
それに対して、おもしろくなさそうな話や知らない話でも、まず聞いてみる人。聞いてから考える人。話を最後まで聞くことが「クジラ聞き」です。

みなさんは、どっちですか？

全部食べてからでも 判断しても遅くありません。食べてからその情報をどうするか決める方が、多くの人の考えを知ることができます。しっかり聞くことが、話の内容を理解したり考えたりすることにつながります。たくさんの人とたくさんの会話、学習をします。

今、みんなは先生の話聞いていますが、「イワシ聞き」と「クジラ聞き」のどっちかな？

ぜひ、「クジラ聞き」でたくさんのお話を全部食べてから栄養にしてください。



## なわ跳び集会



9日(火)に予定していたなわ跳び集会ですが、天候不良のため延期となり、12日(金)に実施しました。1月の中頃からふれあい班で練習を積んできた短なわ跳びの各種目と大なわでの「8の字跳び」で競い合いました。

最初に短なわ跳びの種目を一人一種目ずつ跳びました。制限時間内にできるだけたくさん跳ぼうと、途中で引っかけ



でもすぐに再開してがんばっていました。

短なわ跳びの種目がすべて終了したら次に2班合同の、「8の字跳び」に挑戦しました。高学年はリズム良くどんどん跳んでいきますが、低学年はまだ入るタイミングがうまくつかめない子が目立ちました。そこで、高学年が「ハイ、ハイ」などと声を掛けてあげることで跳び越えていくことができました。だれかがなわに引っかかっても、笑顔で「だいじょうぶだよ」と励ましの声を掛け合いながらグループで協力して取り組むことができました。



### < 成績 >

優勝 1班

準優勝 4班

第3位 3班

チームワーク賞

13・14班

15・16班

#### 種目別成績

前跳び 4年 さん

かけ足(前) 2年 君

かけ足(後) 3年 さん

あや(前) 4年 君

あや(後) 4年 さん

後ろ 1年 君

こう差 2年 さん

二重 6年 さん

はやぶさ 5年 さん